

『ふれあい看護体験』プログラム

日 時 令和5年11月4日(土) 14:00~17:00

場 所 長崎県看護キャリア支援センター

《時 間》

13:30~ ・受付

13:55~ ・オリエンテーション

14:00~ ・開会あいさつ

・現役看護師4名による体験談のお話 《発表順⇒①～順に》

* 新卒看護師 2名・・・高校生時代～看護学生時代～現在までの体験談

テーマ 「聞いてみたい、高校時代から現在までのリアルな日常」

① ^{ふじやま うい} 藤山 有生 様(北松中央病院)

② ^{やまだ くるみ} 山田 久瑠実 様(佐世保共済病院)

* 卒後3年目看護師 2名・・・看護師として働き始めてから現在までの体験談

テーマ 「看護師として慣れてきた頃」

③ ^{たねだ さき} 種田 紗希 様(佐世保中央病院)

④ ^{たけだ ゆうな} 武田 佑菜 様(佐世保市総合医療センター)

・質疑応答

15:00~ ・休憩

15:10~ ・看護技術体験 《各体験時間 20分ずつ》

① バイタルサイン測定(血圧測定・脈拍測定・spo2測定)

② 車いす試乗

③ 手浴

④ シーツ交換(マットのみ)

※グループごとの体験順は下記を確認してください。

16:30~ ・アンケート記入

・記念撮影

・終了

【グループごとの体験順】

* Aグループ…①バイタルサイン測定 > ②車いす試乗 > ③手浴 > ④シーツ交換

* Bグループ…②車いす試乗 > ③手浴 > ④シーツ交換 > ①バイタルサイン測定

* Cグループ…③手浴 > ④シーツ交換 > ①バイタルサイン測定 > ②車いす試乗

* Dグループ…④シーツ交換 > ①バイタルサイン測定 > ②車いす試乗 > ③手浴



本年度は、プログラムの内容で実施し、県北地区 8 校 30 名の高校生が参加されました。

新卒・卒後 3 年目看護師の体験談発表では、皆さん真剣なまなざしで傾聴し、一生懸命にメモを取り、将来のイメージを固めているようでした。発表が終わったあとの質疑応答では「辛い時どのように乗り越えてきたか」などの質問があがり、体験談発表看護師 4 名それぞれに丁寧に応えていただきました。

看護技術体験では、グループごとにローテーションで回り、4つのブースを体験しました。まずは、担当看護師がお手本を見せ、その後学生がペアを組んで体験しますが・・・どのブースもみなさん四苦八苦！しかし、わからないところは積極的に質問し、時間いっぱい真剣に楽しく取組まれていました。また、隙間時間でも、看護技術体験以外の質問が自然と飛び交っており、担当看護師も学生の皆さんに精一杯の思いを伝えられていました。

終了後のアンケートでは、「看護師は大変そう・きつそうだとイメージがありましたが、貴重な体験談を聞いていく中でやりがいのある素晴らしい仕事だとわかり、一層看護師になりたいという意欲が強まりました。また、看護師になる方法が色々あることを知り、今後の進路の参考にしようと思いました。技術体験では、初めての事ばかりで難しく感じることもありましたが、現役の看護師さんが丁寧に教えて下さり貴重な経験をすることができました。また、患者さん側の体験もでき、何かする前に必ず一声かけるなどコミュニケーションがとても大事だということが印象に残りました。あきらめずにたくさんのことを乗り越えて、看護師になるために全力で頑張っていきたいと思いました。」などの感想が聞かれ、有意義なふれあい看護体験が実施できました。

その時の皆さんの真剣な取り組みをご紹介します。本当ににぎやかで、若いパワーに刺激され、こちらも楽しい時間を過ごすことができました！

ご参加いただいた学生のみなさま、本当にありがとうございました。将来一緒にお仕事できることを楽しみに待っています(^^)／





























